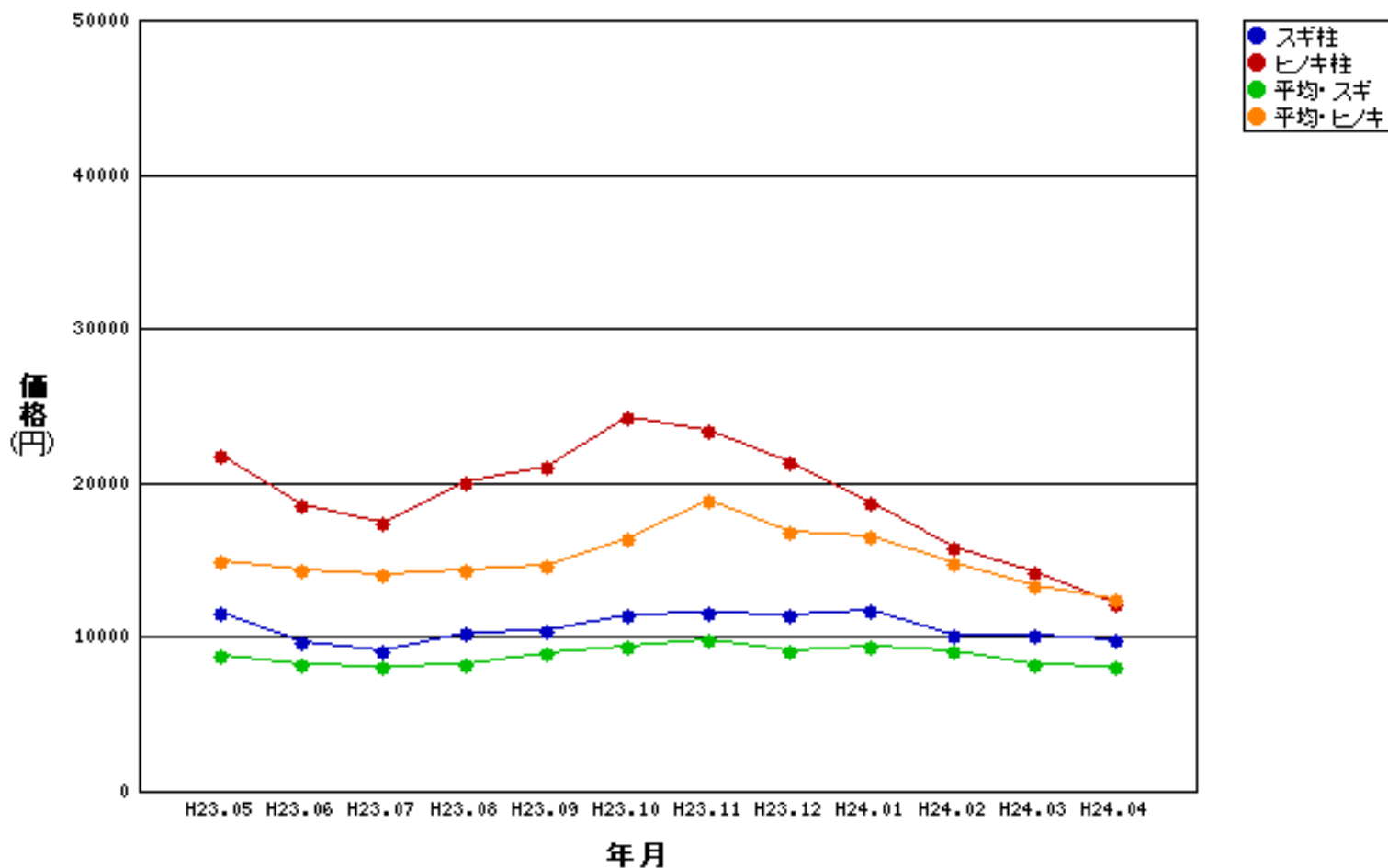


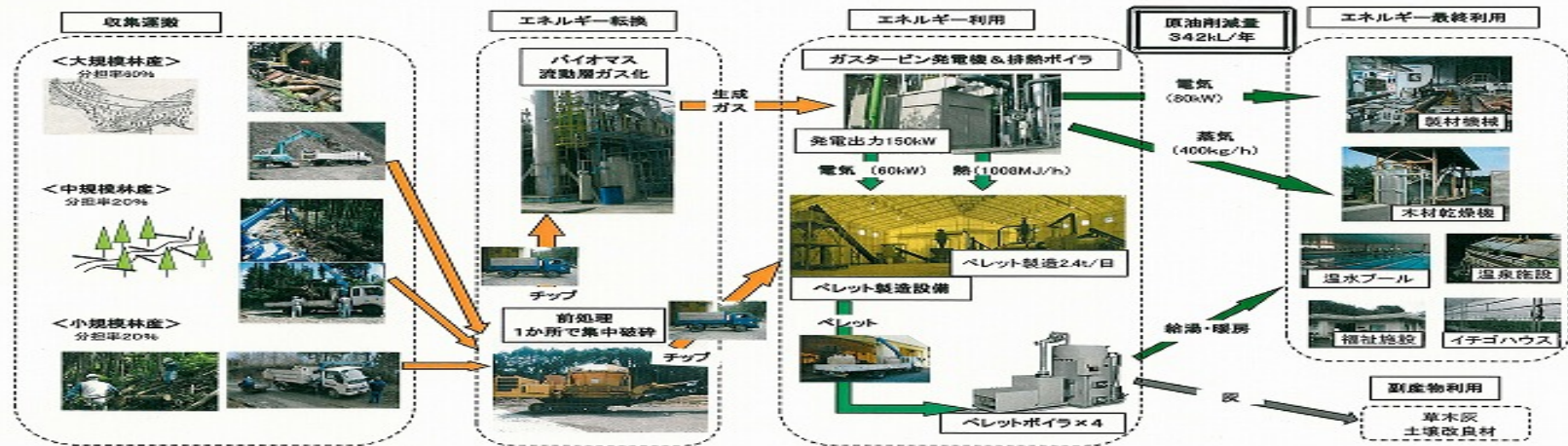
市場も破壊されてしまう

北宇和木材市売場のグラフ



我々もかつて(高知県仁淀川流域にて)

木質のガス化発電



原木からのペレット製造

誰でも参画可能なオープンシステムに

地域の副業に発展、
地域林業振興に発展

高投資で高性能すぎるため採算性が悪く、専門性も高く一部の団体だけでの運営となる

地域住民は参画しにくい

利用方法を転換 薪 + パルプ利用

ガス化発電 & ペレット



ペレットボ
イラー等

(高性能、高付加価値、高投資、不採算)



タンコロ



雑木



薪ボイラー



薪ストーブ



薪風呂等
(山間住民)

低性能、低投資だが、地域ぐるみの薪生産、薪流通システムの構築
「薪で晩酌を！」薪生産・配達を地域の副業に

地域ぐるみの収集運搬

「C材で晩酌を！」

「残材を通貨に！」

制限することなく受け
入れられる仕組み及び
利用別の仕分け体制の
構築



その他
余り材



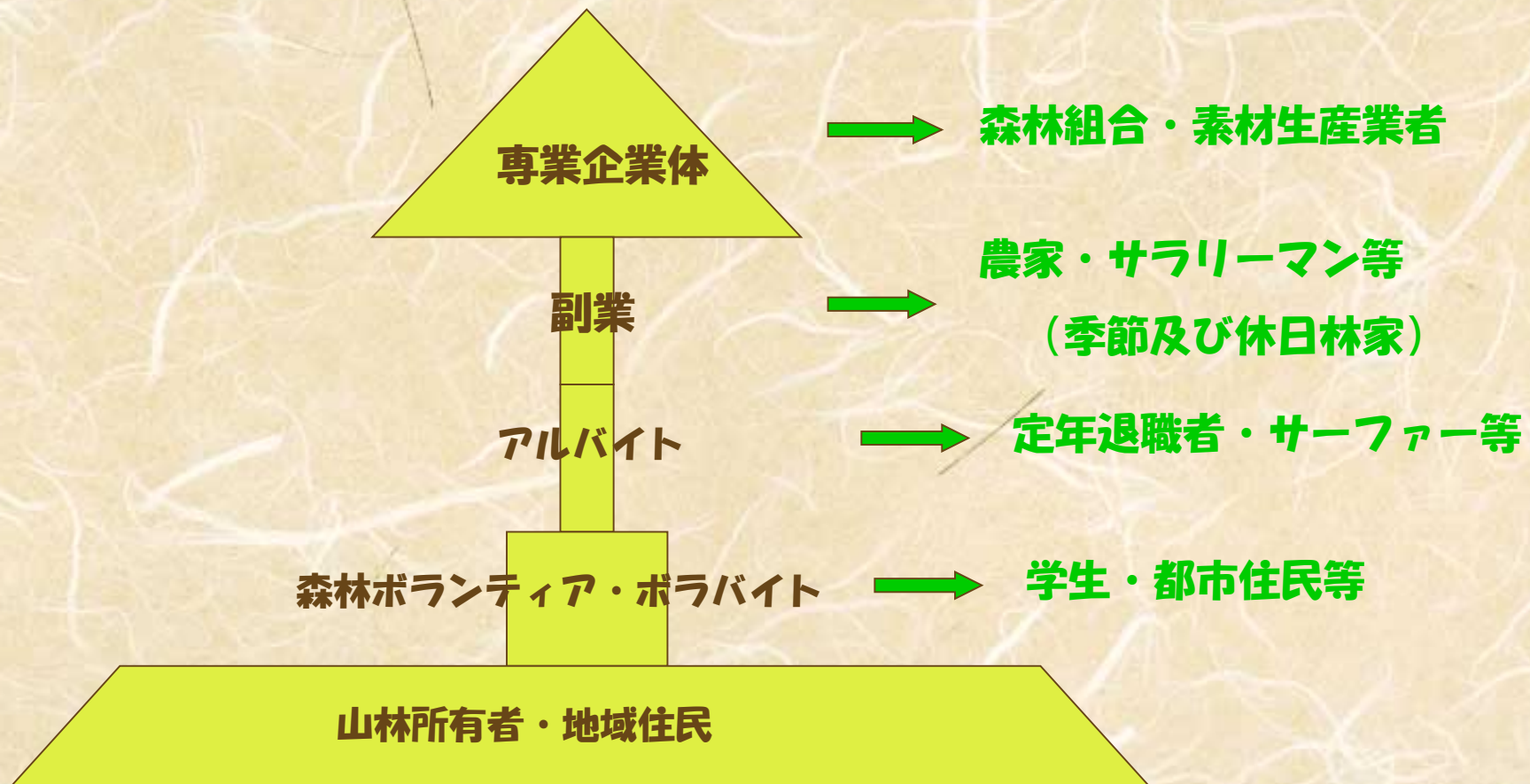
製紙用チップ

製紙チップ利用 = 最終はけ口

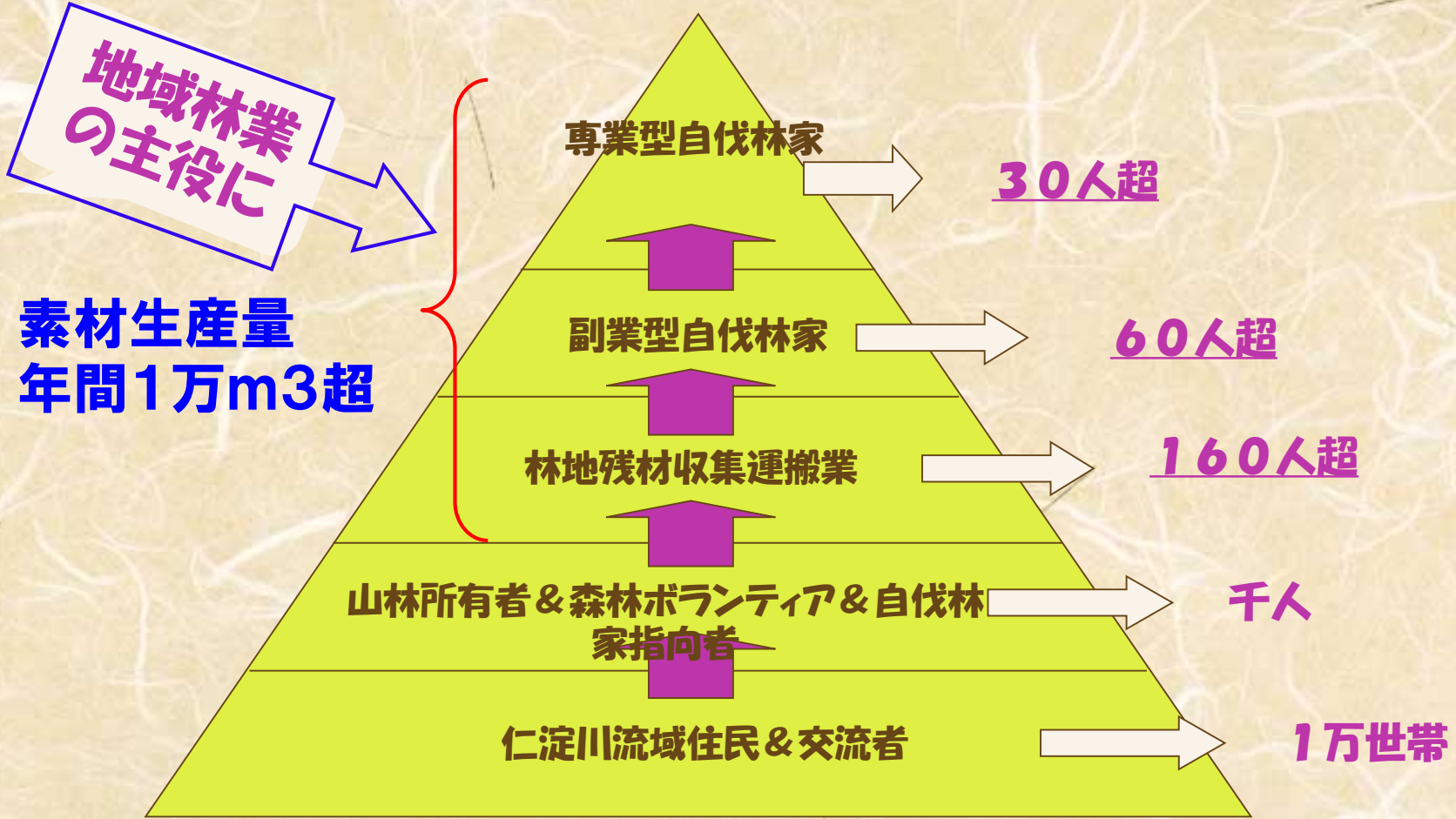
集まった林地残材のシンプルにフル活用システムの構築

現状の林業界の就業構造ピラミッド

林業は専業企業体だけになり、地域から乖離



シンプルな木質バイオマス利用は 地域に根ざした自伐林業による雇用が一気に 増え、本来の林業就業構造ピラミッドを再生



(仁淀川上流域では)

自伐林業は「地域に根ざした脱温暖化・環境共生型林業」

專業型自伐林家の徳島県那賀地方のHさん 銘木を育て原木出荷だけで生計を保つ（100ha所有）



**大規模木質発電を選ぶか
シンプルな木質バイオマス利用
を選ぶかは**

**その地域次第
賢明な選択を！**